



# 平成二十一年成人式

## 二十歳の門出

成人式は、町内の新成人304人を対象に1月11日町民会館で行われ、晴れ着に身を包んだ新成人が集いました。会場では旧友を見つけ歓喜の声をあげたり、写真を撮りあつたりする新成人の笑顔であふれ、大きな盛り上がりを見せました。

この式典は、合併後初めて両中学校が一同に会し開催された成人式であり、新成人の代表者と社会教育委員で構成された実行委員会を中心に企画運営がされ、受付や司会進行、国歌斉唱のピアノ伴奏などの役割を果たしました。

参加した新成人は、町長をはじめ多くの人から祝福と激励の言葉をうけ、それぞれの思いを胸に込めて、大人への一歩を踏み出しました。

### 誓いのことば

大木 麻里

こうして、今日、無事に成人式を迎えられたこと、ならびに久しく会わなかった先生方や友人達に再会できたことを大変嬉しく思います。

私たちが生まれ育った時代は、昭和から平成へと移り変わり、国内外で様々な出来事がありました。世界的には、ベルリンの壁崩壊、中国天安門事件など世界に大きな衝撃を与えました。また、国内では、阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件、まだ記憶に新しい秋葉原通り魔事件など社会を震撼させる事件が多発しています。

一方、バブル経済崩壊の中にあつて、明るい出来事も沢山ありました。日本人初の宇宙飛行士の誕生、シドニーオリンピック女子マラソンでの高橋尚子選手のコメダ賞など、数えれば切りがないほど様々

な出来事があり、今なお、リーマンブラザーズ経営破綻を発端とした世界金融危機の中で、年金問題をはじめ、食の安心・安全、環境問題、インターネットや携帯電話での有害サイト起因する凶悪な事件・事故なども後を絶ちません。

このような中、横光町に304名が成人を迎えた訳ですが、既に社会人として働いている者、新たに社会へ出て行く者、勉学に励む者、それぞれ立場は違いますが、成人を迎えたということに意識が足らなかったように思います。今日を機会に視野を広げ、社会の一員であることを自覚し、それぞれ一人ひとり考え、今の時代背景をしっかりと認識し、目を反らさず、21世紀の若者として社会に貢献できるように努力して行きたいと思えます。

そして、私たちがここまで成長



▲晴れやかに初々しく

▲恩師との再会

▶大人として新たな希望を胸に